

2012年6月1日

モータISPサービスをご利用のお客様

「World IPv6 Launch」とAAAAフィルタ、その影響に関して

日頃からモータISPサービスをご利用いただきありがとうございます。

2012年6月6日より開催されます、「World IPv6 Launch」の実施に伴って、弊社取組を下記の通りご案内いたします。

1. 「World IPv6 Launch」とは

2012年6月6日（日本時間午前9時以降）、世界の主要なインターネットサービスプロバイダー（ISP）、ハードウェアメーカー、Webサービス事業者などが、各社の製品やサービスに対してIPv6を恒久的に有効にすることにより、IPv6の普及を促進する取組です。

<参考サイト>

英語：<http://www.worldipv6launch.org/>

昨年実施された「IPv6 Day」よりも、さらに多くのサービス提供者が参加し、それ以降もIPv6対応のままになることが予想されています。

2. World IPv6 Launch において発生することが想定される事象について

NTT 東日本およびNTT 西日本が提供しておりますフレッツ回線の一部サービス(※2)にはIPv6 の閉域網(プライベートネットワーク)が利用されており、ご利用の環境によってはIPv4 とIPv6 の双方に対応したサーバに対してアクセスをすると、その閉域網から払い出されているIP アドレスを利用してインターネット(グローバルネットワーク)にアクセスしようとしてしまいます。

このためウェブページへのアクセス(閲覧)が失敗したり、また表示されるまでに相当の時間を要してしまうなどの事象 (IPv6-IPv4フォールバック問題) が発生する可能性(※3)があります。

※2: IPv6 の閉域網を利用する一部サービスについて

- ・B フレッツ
- ・フレッツ光ネクスト
- ・フレッツ光プレミアム
- ・フレッツ・ドットネット
- ・フレッツv6 アプリなど

※3: ウェブページの表示に時間を要する又は失敗する事象について

以下の内容全てに当てはまるお客様は影響を受ける可能性があります。

- ①フレッツ光回線（Bフレッツ、光プレミアム、光ネクスト）でIPv4のアドレスを使用しているお客様
- ②IPv6で通信可能なOS（※）を使用しているお客様
※Windows7、Vista、XPの一部、その他v4/v6デュアルスタック可能なもの
- ③IPv4インターネットと、IPv6閉域網（フレッツスクウェアなど）それぞれに接続しているお客様
- ④以下のDNSサーバを設定されているお客様
プライマリDNSサーバ：ns1.sphere.ad.jp（202.239.113.18）
セカンダリDNSサーバ：ns2.sphere.ad.jp（202.239.113.26）

3. 弊社での対策(AAAA フィルタ)について

前項に記述しました想定される事象を回避するため、弊社が提供しております以下の参照DNSサーバ(キャッシュDNS)に対して「AAAA フィルタ」を適用いたします。

- ・cns01.sphere.ad.jp(203.138.71.154) : 東日本用プライマリDNSサーバ
- ・cns02.sphere.ad.jp(210.150.255.66) : 東日本用セカンダリDNSサーバ
- ・cns11.sphere.ad.jp(203.138.63.114) : 西日本用プライマリDNSサーバ
- ・cns12.sphere.ad.jp(203.138.63.122) : 西日本用セカンダリDNSサーバ
- ・cns13.sphere.ad.jp(203.138.63.115) : DNSSEC対応プライマリキャッシュDNSサーバ
- ・cns14.sphere.ad.jp(203.138.63.123) : DNSSEC対応セカンダリキャッシュDNSサーバ

●弊社での対策(AAAA フィルタ)の利点について

IPv4 の環境でご利用のお客様がIPv6 とIPv4 の双方に対応したサーバに対してアクセスをしようとした際に、このAAAA フィルタの対策をした弊社の参照DNSサーバはIPv4 のアドレス情報のみを問い合わせ元の端末に対して応答します。

このためご利用の端末はIPv4 のアドレスが割り当てられたサーバにのみアクセスすることから、前項に記述しましたウェブページへのアクセス(閲覧)が失敗するなどの事象を回避することができます。

基本的に当該対策(AAAA フィルタ)によって、ご利用いただいている端末や通信機器の設定変更は発生しません。

ただし前述以外の参照DNSサーバを個別に設定されている場合には、前項に記述しましたような事象が発生することもあります。その際には参照DNSサーバを「自動取得にする」もしくは「AAAAフィルタ」対応のDNSサーバへ、ご利用されている端末や通信機器の設定変更をお願いいたします。

●弊社での対策(AAAA フィルタ)の注意事項について

当該対策(AAAA フィルタ)によってIPv4 の環境でご利用のお客様がIPv6 のアドレス情報(AAAA レコード)を取得することはできなくなります。このためIPv6 のアドレス情報であるAAAA レコードを取得する必要があります場合には、グーグル社(Google)が無償提供しておりますGoogle Public DNS(パブリックDNS サービス)などをご利用ください。

・8.8.8.8(google-public-dns-a.google.com)

・8.8.4.4(google-public-dns-b.google.com)

なおグーグル社(Google)が提供していますGoogle Public DNS につきましては以下(英文)をご参照ください。

・<http://code.google.com/intl/ja-JP/speed/public-dns/> (英語)